

# 15 輝く朝日

1. 輝く朝日 夜ぞらに光る  
月や星よりも  
キリストは 美しくきよい救い主
2. ほめたたえよう 人となられた  
神のみ子イエスを  
主はわたしの救い主 王の王 主の主
3. み使いも 世界の人も  
声高く歌おう  
美しい キリストこそ すべてのすべてと

# 147 「主よ感謝します」

主よ感謝します 今のこのときを  
こころみの中にも 主の平安がある  
なにが(なにが) わたしを(わたしを)  
主から(主から) はなすのか(離すのか)  
悩みか(なやみか) 苦しみか(苦しみか)  
飢えか(うえか) つるぎか(つるぎか)  
なにものも私を はなすものはない  
主の深い愛から はなすものはない

新聖歌297番 「神はわが力」

- 1 神はわが力 わが高きやぐら  
苦しめるときの 近き助けなり
- 2 たとい地は変わり 山は海原(うなばら)の  
中にうつるとも われいかで恐れん
- 3 神のみやこには 静かに流るる  
きよき河(かわ)ありて み民をうるおす
- 4 みことばの水は 疲れをいやして  
新たなるいのち 与えて尽きせじ 【次】

新聖歌297番 「神はわが力」

- 5 神の御許辺(みもとべ)は  
常に安(やす)らけく  
苦しみも悩みも 消えて跡(あと)ぞなき  
アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌 1番 「いざ 皆きたりて」

- 1 いざ 皆(みな)きたりて 喜ばしく  
声をひとつにし ほめたたえよ  
\* こひつじイエスに 御栄(みさか)えあれや  
ハレルヤ！ ハレルヤ！ ハレルヤ！ アーメン！
- 2 われらに代わりて 死にたまいし  
神のこひつじに 栄えあれや (\*くりかえし)
- 3 イエスこそ すべてのちからと知恵  
富(とみ)とみちびきを 受くべきなれ (\*くりかえし)
- 4 神に造られしもの すべては  
声をひとつにし ほめたたえぬ (\*くりかえし)

アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの  
おお みかみに

ときわに たえせず  
みさかえあれ  
みさかえあれ  
アーメン